



広 報

ひだ

町 木



第95号
肥田町
まちおこし
推進協議会

謹賀新年

自治会長 薩摩三次

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



ふり返りますと、令和二年目という年、どちらかと言えば、新自由主義の世界的な風潮の中で、日本の役割が問われようとしているところ、年初からコロナウイルスの感染テンポが予想外に早く、世界が激震の渦に巻き込まれ、保たれてきた世界の政治、経済の秩序が振出しに戻った感じがいたします。

また、安倍政権の長期七年余にわたるアベノミクスや懸案の憲法改正など個別の課題にも急ブレーキがかかり、直面するコロナ禍への対応のもたつきや安倍首相自身の健康状態もあって、内閣退陣を余儀なくされました。そして、官房長官の菅義偉氏が総理に就任することとなり、菅新首相は、いち早く、安倍政治の継承と「自助、共助、公助、そして絆」

を基本に行政を推進する旨、訴えられました。

私も生活者としては、安倍首相のときにも、「常に国民に寄り添う」身近な理解ある対応と言われながら、いろいろと戸惑うケースに出会っていますが、これからはコロナウイルスの鎮静がまだまだ見えない世界が続くと予想され、菅首相の打ち出される派手な花火の優先順位が果たして私どもの生々しい生活にどう繋がっていくのか、どのように改善の道が敷かれていくのかなど、全く見えていません。苦労人の菅首相に期待しているとこです。

また、町内では、現在のコロナで封じられている新事態の中、田舎町ならではの熱い繋がりや温もりを住民の心強い滋養に、コロナに負けない強い町づくりを進めることが一層重要になっているとの思いを強くし、諸先輩のご努力を継承しながら、依然に宣言しました「互・近・助」の心を環境、防災に留まらず生活すべての面で活かすべく、町民皆さんとともに力を合わせて守り通していきたいと思っております。一層のご支援とご協力を宜しくお願いします。

皆さまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

〓長寿おめでとうございます

〓 末永くお元気で 〓

卒寿 (昭和七年生まれ)

森野久子さん

薩摩かず子さん

藤野良一さん

米寿 (昭和九年生まれ)

鶴野喜八さん

成宮ハツさん

薩摩茂和さん

青木不二江さん

傘寿 (昭和十七年生まれ)

藤野まさ子さん

藤野一成さん

筒井弘子さん

古希 (昭和二十七年生まれ)

薩摩隆司さん

成宮克美さん

薩摩重代さん

辻野久和さん

元持正行さん

還暦 (昭和三十六年生まれ)

高瀬英彦さん

鹿島能孝さん

伊関健司さん



謹賀新年

農事改良組合長 薩摩隆司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
町民の皆様におかれましては、ご家族
お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと
お喜び申し上げます。

日頃は、改良組合に対しましてご理解
ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中、改良組合総会
の書面決議に始まり、六反地の改良区
の変更等がありました。また、改良組合員
の方々には、新川川堀にご協力いただき
ましたこと、誠にありがとうございました。
近江神宮の初穂米につきましても、
多くの方々よりご奉納のご協力いただき
厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風、大雨など大きな災害も
なく過ごさせていただきましたが、コロ
ナ禍の大きな生活環境の変化もあり、組
合員の方々にはご不便をおかけしてい
ると存じます。今年は、新型コロナワクチ
ンの開発や東京オリンピックの開催に期
待したいものです。

農業労働力の高齢化、また、麦、大豆
野菜などの減反に伴う担い手の確保、農
産物生産技術のノウハウ等が必要である
ようです。

残り任期も残すところ三か月となりま
したが、今年も改良組合にご指導ご鞭撻
いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にと
りまして良き年でありますようにご祈念
申し上げます、新年のご挨拶とさせていた
だきます。

謹賀新年

農事組合法人ファーム肥田

代表理事 成宮一郎

新年明けましておめでとうございま
す。

ご家族お揃いで令和三年の新しい年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、農事組合法人ファーム肥田の
運営にご協力とご支援いただき誠に有
難うございます。

令和二年は中国武漢から始まった新型
コロナウイルス感染症が拡大し、世界中
を恐怖に陥れました。その結果、日常生
活が大きく変わり、人々の行動が制限さ
れました。基本在宅という「新しい生活
様式」に移行し、「三密」の回避、手洗
いとアルコール等の消毒、マスクの着用
人と人との距離の確保等、国も専門家の
意見を聞きながら国民に呼びかけた結
果、一時落ち着いてきたようですが、そ
の後の第2派第3派がおし寄せ予断を許
さない状況であります。

当法人でも、新型コロナウィルスの影
響で外食産業における米の需要が減少
し、米価の下落トレンドにより売却価格

が下がったことで全体的に減益となりま
した。令和二年産水稲は長い梅雨の影響
で、特に早生種は高温・多雨が災いして
日照不足で減収という結果になりました
た。ただ当法人の場合は、収入保険制度
に加入しており大きな影響は無いと思わ
れます

一方、小麦「ふくさやか」の収量は、
作付面積六八二・五アール、収量は二六
五八七、六キログラムで、10アール当
り三八九、六キログラムでした。参考ま
でにJA東びわこ管内の平均反収は二九
四、九キログラム、稲枝管内は二九八、
三キログラム。他の法人と比較しては多
く収穫できました。

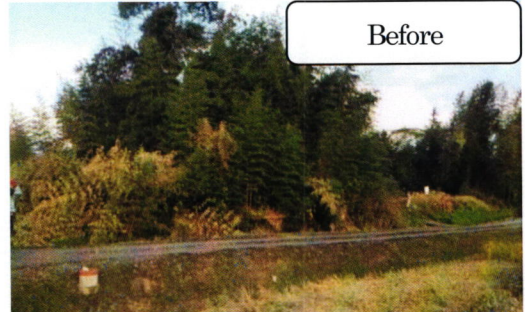
当法人は、肥田町のまちづくりの中心
的存在として今後も期待されているところ
であり、皆様のご理解とご協力を得な
がら運営を進めていく所存であります。

最後になりましたが、本年が町民皆様
にとりまして良き年でありますようご祈
念申し上げます、また新型コロナウィルス感
染症が一刻も早く終息されることを願
い、年頭のあいさつとさせていただきます。

世代をつなぐ美しい農村

室町期の土塁か、江戸初期の土塁か。
肥田城を守る土塁か、肥田を洪水から守
る土塁か。必ずしもはっきりしない肥田
町を取り囲む土塁。原型を残すのはこの
部分と、自治会として保全することとな

Before



われしました。当日参加いただいた方は自治
会役員を始め総勢十九名で、風が強く吹
中、竹を伐採(根元から1m程度、4〜5
年で抑制されること)とし、搬出されま
した。状況が

状況だけに
一挙には難
しいですが、
継続的な取
り組みで町
の誇りとさ
れる歴史的
資産を適正
に管理でき
ればと思い
ます。ご参
加いただいた
皆さん、ご苦
労様でした。

After



ご成人おめでとつございます
ご発展をお祈りします

鵜野颯さん



新年明
けまして
おめでと
うござい
ます。
今年、成
人式を迎
えることとなり、人生の大きな節目とな
ります。

まだまだ二十歳になったという実感が
なく、未熟な人間ではありますが、これ
までお世話になった家族や友人、多くの
方々に感謝の気持ちを忘れず、自分自身
の行動や言動に責任を持ち、今何をする
べきなのか、正しい判断ができる立派な
自立した人間を目指して日々努力・発
見・挑戦していきたいと思っています。

鵜野心歌さん



新年あけ
ましておめ
でとうござ
います。
こうして
無事に成人
を迎えられ

たのは今まで支えてくださった地域の方
々、友達、関わってくださったすべての
方々のおかげです。そして誰より私が毎日
楽しく笑って過ごせているのは明るく楽
しい家族がいつも一緒にいて支えてくれ
たからです。父をはじめ、母、弟、祖父母
曾祖父母にはとても感謝しています。あり
がとうございます。

成人するにあたって、自分が将来何をし
たいかを日々考えながら過ごしています。
その日々の中で私が今熱心に取り組んで
いることの一つに部活があります。高校ま
では違い、自分達が主体となつてチーム
を運営しています。チームが同じ目標に向
かっていくうえで、様々な考えの人と意見
を交わし合い、よりよい解決策を見出し実
行することは、自分自身の成長を感じられ
るいい経験となつています。この貴重なか
けがえのない経験を今後の人生に生かし
て、頑張っていきたいと思っています。

藤野桃果さん



新年あけ
ましておめ
でとうござ
います。
今の日本
社会はコロ
ナの流行の
ため変化も激しく、不安も続き、若い私た
ちにとってはとても厳しい環境の中にあ
ります。しかし、こうして無事に成人式を

迎えることができ心から嬉しく思います。
成人式という一つの節目を無事に迎え
られたのも家族や友人そして地域の方々
の支えがあったからだと思っています。今はま
だ学生として学業に励む日々ですが、ここ
で多くの知識を吸収し、社会に貢献できる
大人になりたいです。そして、これからも
感謝の気持ちを忘れずに様々な経験を重
ね、謙虚な姿勢で頑張りたいと思います。

松村恵大さん



新年あけま
しておめで
とうござい
ます。
こうして無
事に成人を迎
えることができ
たのも、たく
さんの愛情を注いで育ててくれた家族や
お世話になった先生方、幼いころから温か
く見守っていただいた地域の皆様のお陰
であることを深く感謝しております。今ま
での感謝を忘れず、自分の言動に責任を持
つて日々の暮らしを送っていきたいと思
います。

私は、現在大学で教育について学んでい
ます。人を教えるという立場の仕事を目指
しているからには、誰にも誇れるような立
派な大人にならなければなりません。成人
としての自覚を持ち、今まで以上に勉学に
励んでいきたいです。これからどうぞよろ
しくお願い申し上げます。

令和5年以降の成人式について

民法の改正により令和4年4月1日か
ら成年年齢が20歳から18歳に引き下げ
られますが、彦根市では、令和4年度以降
も成人式の対象者は現行どおり(その年度
に20歳に達する人)にすることとされま
した。

これは、成人年齢が18歳に引き下げら
れても、多くが高校3年生で、受験や就職
活動など大切な時期と重なり、本人および
保護者の負担が大きくなることや、アンケ
ート結果では、回答者の多くが20歳で実
施するのが良いと回答されていることに
よるものだそうです。

お悔やみ

安らかに眠りください

鹿島 のぶさん 享年八十四歳
(令和二年十月六日逝去)

大村 肇さん 享年八十歳
(令和二年十月二十三日逝去)

筒井美知子さん 享年九十二歳
(令和二年十一月十二日逝去)

鵜野豊子さん 享年九十三歳
(令和二年十二月五日逝去)

ふるさと歴史探訪記 11

高瀬 俊英

肥田城はどこに

「肥田町史」作成のころは肥田城跡の範囲がはつきりしていませんでした。小字山王、月山あたりに、昔、小高い地形であったところから、「見張り櫓」か「天守閣」があったのではないかという推測がなされていました。

その後、圃場整備前の文化財発掘調査が行われ、専門家の知見では、「肥田城跡」は小字新田(Ⅱ上新田、下新田の約三町六反)に絞られてきました。畔に立てられている営農組合表示立看のB地域あたりです。

相当に広い面積をもつ城跡です。江戸初期に廃城となった資材は、すっかり彦根へ、後は開墾されて新田に。しかし、地下埋蔵物の調査はまだ行われていません。かつて耕作

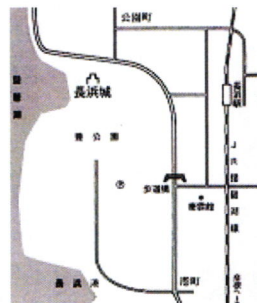
者の方が言っておられた、「田の底深くに杭のようなものがある」とか、「畳二枚分の石が田の底にある」など、疑問は残ったままです。



肥田城の立地

どんな城だったのか

肥田城は平地に建てられた平城(ひらじょう)です。肥田でも一番低い土地に建てられた城でした。
(秀吉の建てた長浜城も平城で、一番低い湖岸に建っています。)



愛知川の伏流水、不飲川は東田堂西の不飲池を起点に来迎川へ、来迎川から分かれた伏流水は長野を通り肥田へ、宇曽川に流れ落ちていきます。その宇曽川堤防の側に、宇曽川を見下ろすように肥田城は建てられ、宇曽川の水は沼として城の周りに引き込まれていたと考えられます。(岩倉川Ⅱ吉田川の水を城内に取り入れた目加田城と同じ造りです。)

宇曽川をまたいで三津町に肥田城の支城、「越川城」も造られました。宇曽川の舟運にニラミをきかせ、守りを固める城でした。

城造りの変遷

一五五八年(永禄二年)は肥田で合戦が行われた年です。日本への鉄砲伝来は

一五四三年(天文十二年)ですが、まだ鉄砲は使われていなかったようでした。城主高野瀬氏の時代は、肥田公民館の正面壁面に描かれているような木造造りの城、蜂屋氏、長谷川氏が城主の時代になると鉄砲に対応できる城、瓦、土壁、石垣などで固められた城が登場したと考えられます。

肥田にも天守をもつ土壁の城が存在していました。上段図は現長浜城。肥田にも廃城前にはこの類の城が建てられていました。



肥田城想像図(肥田町公民館 大広間正面壁面)

編集後記

(森田喜久雄)

令和三年、新しい年が明けました。昨年はコロナに明け、コロナに暮れた嘆かわしい一年だったように思います。世の中の営みが止まり、人々の生活が一変し、なかなか浸透できない新しい生活様式が求められました。この新しい生活様式、人々のつながりを制限する、希薄にする、そんな寂しい側面があります。やむを得ないことは言え、一過性であって欲しいものです。これでは人と人が繋がりが合う、支え合うことができません。人という漢字が書けないのです。一日も早く治療薬、予防薬が開発されますように！

菅新政権、コロナ対応もさることながら、強権的な姿勢は安倍前首相譲りででしょうか。森友、加計、検査庁人事の疑問に続き、日本学術会議問題です。人事で組織をまとめるのは組織人として当然なのではないが、国家の反省の上に立ってできている法律の解釈を曲げ、牛耳ってはならない組織を牛耳り、意のままに国家を導こうとする危険な手法です。耳を貸さない、耳を塞ぐ、そんな総理大臣に追隨する政治家が情けなく思えます。

アメリカ大統領、選挙は終わりましたが、政権移譲はこたっています。世界では待ったを許さない難問が多く立ちはだかっているのに、この体たらくは如何したものでしょう。香港問題は？北朝鮮問題は？イラン問題は？トルコ問題は？...